

【生涯学習特集】

地域連携センターでは、地域に開かれた大学としてさまざまな事業を企画して開催しています。今回は平成27年度に企画実施された事業の一部を紹介します。

倉本聰氏 特別講演会

—「当たり前前の暮らしを求めて」—

平成27年4月25日（土）、若里市民文化ホールにおいて、清泉女学院特別講演会を開催しました。脚本家の倉本聰氏をお招きし、「当たり前前の暮らしを求めて」の演題で講演いただきました。

倉本先生の富良野での生活やさまざまな活動のお話を通じて、今だからこそ忘れてはいけない思い、人として心豊かに生きることの尊さ、そして便利な生活が当たり前と思っている我々の暮らしを見つめなおし、本質を考えて生きることの大切

さに気づかされました。満席の会場の皆様と心豊かな時間を共有できたことは大変有意義でありました。



大盛況！ 「ながのキッズカルチャー EXPO2015」



浜このみさん

11月22日（日）、本学において幼児教育科主催の「ながのキッズカルチャーEXPO2015」を開催しました。学生・教職員そして本学の講座を受講して「笑顔クリエイター」として認定された一般市民の方々と一緒に作り上げたイベントは、当日天候に恵まれたこともあり、総勢800名以上の参加があり大盛況でした。

「人形劇」「キッズコンサート」「紙芝居・絵本」「皿回し体験」「マジック



クバルーン教室」「折り紙」「絵本作家の長野ヒデ子さんの特別講演会」などの屋内ブース、そして屋外では「食育コーナー」でクッキングコーナー・イングリッシュコーナー・浜このみさんの美味しいスープのふるまいもあり、子どもも大人も一緒に楽しめる体験型イベントとなりました。ブースめぐりの間には、学生食堂で食事をしたり中庭で休憩しながらお茶を飲んだり、秋の1日を家族でゆつくり楽しんでいただけたと思います。

このイベントは「H27年度長野県大学・地域連携補助金採択事業」として開催しました。

地域映画上映会

『見えないから見えたもの』



講演いただいた加瀬清志氏

11月25日（水）、本学において映画『見えないから見えたもの』の上映会を開催しました。

幼い頃、肺炎がもとで視力を失った元岡山県立盲学校教頭・竹内昌彦さんが、苦難を乗り越え、たくましく生きてきた半生を描いた映画で長野県初上映となりました。上映に先立ち行われた加瀬清志氏（放送作家であり本作品の脚本を担当）によるミ



ニ講演会では、映画制作の経緯や制作秘話などをお話しいただきました。来場された方々から、大変高い評価と上映会への感謝のお言葉を多数いただきました。その一部をご紹介します。

・骨太で質の高い映画だった、人間性を回復する事ができた。（50代男性）
・いま置かれた現況の中で不平不満を言わず、人に優しく強く生きていきたい。（60代女性）
・家族愛、人間愛がひしひしと伝わり思わず涙が溢れてきた。（70代女性）